

經濟論叢

第132卷 第1・2号

| | | |
|-----------------------------------|---------|-----|
| 経営と家族 (1)..... | 渡 瀬 浩 | 1 |
| いわゆる「植民地物産」について (1)..... | 渡 辺 尚 | 22 |
| 戦後ソ連の工業化と企業組織..... | 溝 端 佐登史 | 48 |
| 日本帝国主義形成期における東北開発 構想 (下) | 岡 田 知 弘 | 71 |
| 日本工作機械工業の技術発展の統計的分析..... | 小 林 正 人 | 88 |
| 戦時金融統制と日本興業銀行..... | 西 村 貢 | 110 |
| 書 評 | | |
| 本山美彦『貿易論序説』..... | 杉 本 昭 七 | 134 |

經濟学会記事

昭和58年7・8月

京都大學經濟學會

記 事

経 済 学 会

1983年度第1回の定例研究会が、新会員の歓迎会をかねて、去る6月16日午後1時30分より、約60名の出席を得て、経済学部特別講義室において開かれた。

報告者は大学院学生金谷義弘氏と本学部助教授本山美彦氏であり、各報告について出席者のあいだから活発な質問があり、討論がおこなわれた。

今回の研究報告会は諸般の事情により直前になって開催通知を行うことになったが、報告者両氏の御協力、諸会員の積極的御参加を得て盛会のうちに終了することができた。

今回も報告会の事前準備から当日の会場運営等に尽力して下さった編集室の石原文蔵氏、資料室の細川元雄氏、桜田忠衛氏に心から御礼申し上げたい。

(研究委員 高寺貞男・菊池光造、院生委員 西村 貢)